

2015年3月3日  
東日本旅客鉄道株式会社

## 現 美 新 幹 線 「GENBI SHINKANSEN」

～旅するアートカフェ新幹線、新潟エリアを楽しむ新しい観光列車がデビューします～

デザイン、食、アートなど「新しい東日本エリアを発見・体験」いただけることにこだわった新しい列車をプロデュースし、お客さまに「日常から解放される」旅行をご提供することで、地域の活性化及び観光流動の拡大に取り組んでいます。

この度、世界最大規模のアートイベント「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ」が開催される新潟エリアに、首都圏のお客さまや海外からのお客さまに加え、地元のお客さまにもお楽しみいただける新しいコンテンツとして、「移動する現代アートの美術館」を投入します。併せてカフェ空間やキッズスペースなども設置した「のってたのしい列車」とします。

特に「現代アート」については、「全席ミュージアム空間」とした車両とし、いままでの列車の空間デザインの枠を超えた旅の時間をお届けします。併設するカフェのメニューについても「地元や地域の食材」を活用した内容を予定しています。

### 1. 「のってたのしい列車」について

JR東日本は、新しい鉄道の未来を切りひらく取り組みの一つとして、単なる移動手段ではなく、列車に乗ること自体が旅行の目的となるような、魅力的な列車づくりを進めております。在来線車両では、「POKÉMON with YOUトレイン」(2012年12月から大船渡線で運行開始)、<sup>東 北</sup>「TOHOKU EMOTION」<sup>エモーション</sup>(2013年10月から八戸線で運行開始)、「S L 銀河」(2014年4月から釜石線で運行開始)、「越乃Shu\*Kura」<sup>コシノシユクラ</sup>(2014年5月から信越本線高田駅～飯山線十日町駅間等で運行開始)、新幹線車両では、「とれいゆ」(2014年7月から山形新幹線福島～新庄駅間で運行開始)に続いて、「GENBI SHINKANSEN」という新しい列車の旅を提案します。

これからも、「地域に生きる」をコンセプトとして、新しい東日本エリアを発見・体験していただくサービスを提供することにより、地域の活性化及び観光流動の拡大に貢献してまいります。

## 2 . 新しい列車の仕様と運行について

- 対象車両 E 3 系（新幹線用車両）の改造
- 車両愛称 「GENBI SHINKANSEN／現美新幹線」
- 座席 6 両編成 / 105 名（予定）
- 運行開始時期 2016 年春以降（予定）  
具体的な運行開始時期はあらためてお知らせいたします。
- 運行線区 新潟エリア（越後湯沢～新潟間）を中心とした上越新幹線区間
- 運転日 臨時列車として、土休日を中心に年間 120 日程度の運行を予定しています。

## 3 . 新しい列車外観デザインについて

エクステリアデザインは、世界的な写真家の蜷川実花氏により、列車自体をキャンバスに見立て、外観に「長岡の花火」を描き出す大胆なデザインを行う予定です。具体的なデザインが決定しましたら改めてお知らせいたしますので、今後のお知らせにご期待下さい。

### 蜷川実花氏 プロフィール

#### 写真家・映画監督

木村伊兵衛写真賞ほか数々受賞。映像作品も多く手がける。

2007年、初監督映画『さくらん』公開。2008年に個展「蜷川実花展」が全国の美術館を巡回し、のべ18万人を動員。2010年、Rizzoli N.Y. から写真集「MIKA NINAGAWA」を出版、世界各国で話題となる。2012年、監督映画『ヘルタースケルター』公開、22億円の興行収入を記録。

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会理事就任。

2015年1月24日より、品川の原美術館にて、個展「蜷川実花：Self-image」を開催。

<http://ninamika.com>



## 4 . 新しい列車内スペースについて

インテリアは、車両ごとに各アーティストがこの場所のために制作したもので形作られます。

- 列車内空間 「旅する現代アート&カフェ空間」。アートが元気な新潟エリアで、新幹線×アーティストという異色のコラボレーションが、新しい旅の空間を提供します。
  - ・ 6 両すべてが、現代アートのアーティストのプロデュースによる空間になります。

- ・うち中程の1両を「カフェ」と「キッズスペース」空間とし、カフェでは魚沼産コシヒカリの米粉を生かしたケーキやマドレーヌなどを製造する菓子工場「十日町すこやかファクトリー」（十日町市）と、著名な菓子研究家が協力して製造したメニューを予定しています。またキッズスペースについても、アーティストの監修による、こどもがアートに触れられる空間とする予定です。
- ・また片方の先頭の1両は従来の座席配置を踏襲するものの、アーティストによるインテリアの素材やデザインの選定・監修を予定しています。従来車両と異なった表情をもつ車両の空間とする予定です。

○アート作品 絵画、立体、写真、映像、テキスタイルなどの現代アートを中心とした作品を予定しています。具体的な参加アーティストや作品内容等は決定しましたら改めてお知らせいたしますので、今後のお知らせにご期待下さい。



イメージ： 現在検討中のインテリアのイメージイラストであり、実際のものとは異なります。



< 主なのってたのしい列車 >

	①POKÉMON with YOU トrein	②TOHOKU EMOTION
列車 愛称		
運行区間	大船渡線 一ノ関～気仙沼駅間等	八戸線 八戸～久慈駅間
車両	キハ100系(2両)	キハ110系(3両)
定員	46名	48名
運行開始	2012年12月22日	2013年10月19日
運行予定	土休日や春・夏休みなどを中心に 年間160日程度	土休日や春・夏休みなどを中心に 年間150日程度
車両特長	「ポケモンたちといっしょに楽しむ家族の旅」がコンセプト。子供達のがのびのびと楽しめるプレイルーム車両と家族で楽しめるコミュニケーション車両。	三陸の海を眺める「走るレストラン」がコンセプト。人気シェフ監修のコース料理を提供する全席レストランの列車。 (往路)ランチコース (復路)デザートブッフェ

	③SL 銀河	④とれいゆ
列車 愛称		
運行区間	釜石線 花巻～釜石駅間	山形新幹線 福島～新庄駅間等
車両	C58 239/キハ141系(4両)	E3系(6両)
定員	176名	143名
運行開始	2014年4月12日	2014年7月19日
運行予定	土休日を中心に年間80日程度 (釜石行/花巻行 各40日程度)	土休日を中心に年間120日程度
車両特長	宮沢賢治の「銀河鉄道の夜」がコンセプト。宮沢賢治及び東北の文化・自然に関する展示や、光学式のプラネタリウムなど。	「温泉街のように散策しながら楽しむ旅」がコンセプト。足湯、地酒やワインを楽しむ湯あがりラウンジ、地元の食材にこだわったおつまみなど。

⑤越乃 Shu*Kura	
列車 愛称	
運行線区	信越本線 高田駅～飯山線 十日町駅間等
車両	キハ 40・48 形(3 両)
定員	70 名
運行開始	2014 年 5 月 2 日
運行予定	金曜日、土休日を中心に運行
車両特長	地酒王国・新潟が誇る「日本酒」がコンセプト。新潟県内の銘酒の利き酒や、地元の食材にこだわったおつまみ、ジャズの生演奏など。

(これからデビューする列車)

⑥おいこつと		⑦フルーティア	
列車 愛称			
運行線区	しなの鉄道北しなの線・飯山線 長野駅～十日町駅間	磐越西線 郡山駅～会津若松駅間	
車両	キハ 110 系(2 両)	719 系(2 両)	
定員	76 名	36 名	
運行開始	2015 年 4 月 4 日	2015 年 4 月 25 日	
運行予定	土休日を中心に運行	土休日を中心に運行	
車両特長	「日本人のこころのふるさと」がコンセプト。訪れる人にやすらぎと癒しを提供。古民家風のデザインの内装など。	優雅な空間で「走るカフェ」がコンセプト。福島県産フルーツを使用したオリジナルスイーツなど。	